

平成14年度 公共事業再評価調書（河川改修事業）

（事業着手後 10年以上経過し継続中の事業）

評価確定日	平成14年 月 日
所管部課名	建設交通部 河川課

地区名	事業の概要	1 必要性の観点			2 事業進捗の見込みの観点						
		事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	事業の投資効果	[事業進捗の見込み] 早期に浸水被害の解消を図る必要があることから、H19年度事業完成を予定している。						
[河川名] 二級河川 ばふみがわ 馬踏川 [所在地] 昭和町佐渡 ~ 秋田市岩瀬	[事業の目的] 流下能力不足の断面を拡幅し、 浸水被害の解消を図る。 [総合計画上の位置付け] [事業の内容] 広域基幹河川改修事業 延長 1,570m 築堤 3,140m 護岸 9,000m ² 道路橋 3橋 事業費 31.94億円 内用地費 11.12億円 事業期間 H5~H19 治水安全度 1/30 計画高水流量 90m ³ /s	[事業の経緯] H5 事業採択 H6 用地着手 H7 工事着手 [進捗状況] H14末投資済事業費 24.64億円(77.1%) 内用地費 8.95億円(80.5%) 改修済延長 1,000m(63.7%) [長期継続の理由] 下流より順次事業を進めている ものの、家屋連担地域であること から支障建物の移転交渉や、市道 の付替、埋設支障物件の交渉等に 不測の期間を要している。	災害発生時の影響(想定氾濫区域内) 浸水戸数 104戸 農地浸水面積 20ha 過去の災害実績 被災頻度 3回/10ヶ年 最大浸水家屋 74戸 最大農地浸水面積 15ha 災害発生の危険度 改修目標流量に対する現況流下能 力の割合 約22% 地域の状況 地域開発の状況:地域開発は特にな し 地域の協力体制:地元住民は協力的 である。 地域の事業に対する社会的評価: 当該河川において、浸水被害が 発生していることから、河川改修 事業の早期完成を熱望している。 環境対策 H8多自然型川づくり構想策定時に環 境調査を実施しているが、貴重種の確 認はされていない。 ただし、工事に際しては環境保全型 ブロック等の護岸を実施している。	[整備効果] 家屋連担部については、H7~H11 の「床上浸水対策特別緊急整備事業」で 改修されたことにより、河積の拡幅が図 られたため、浸水に対する効果が発現さ れている。 [費用の変化] 橋梁の耐震補強や取水堰湛水区間の護 岸補強等の技術的要因と物価上昇による 移転物件等の経年的要因により、費用は 増加している。 [効果の変化] 効果が変化する要因は特になし。 [費用対効果] <table border="1" data-bbox="1863 1056 2228 1142"> <tr> <td>計画時</td> <td>1.22</td> </tr> <tr> <td>再評価時</td> <td>2.19</td> </tr> <tr> <td>採択基準</td> <td>1.00</td> </tr> </table>	計画時	1.22	再評価時	2.19	採択基準	1.00	3 コスト縮減や代替案立案等の 可能性の観点 [コスト縮減の可能性] 残区間の護岸について、従来 の護岸より安価な環境保全型ブ ロックの使用等により、コスト 縮減を図りながら、事業の進捗 を図る。
計画時	1.22										
再評価時	2.19										
採択基準	1.00										
再評価の結果		対応方針(案)及びその理由		公共事業評価専門委員会の意見							
継続・中止		[対応方針(案)] 計画どおり、平成19年度の完成を図る。 [理由] 地区住民の浸水被害による不安解消を図る必要があることから、重点投資し、早期の完成 を図りたい。		継続は妥当と認める。							